

3-3-3 史跡 石碑「無盡秀全 三十六童供養塔」

員数 1 基

明治初期、木喰行書「無盡秀全」が乗鞍岳への登山道を開き、沢上集落から乗鞍岳頂上までに、36本の石製道標を設置した。

この道標は1本約200キロで、童子が刻まれている。現在は肩の小屋から頂上までに3体の像が現存している。

丹生川町地内には、この行書が木っ端により書いた掛け軸が多く残っている。

平成14年7月24日指定

高山市教育委員会

説明板より